



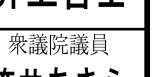
市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



衆議院議員
藤野保史



参議院議員
たけだ良介



参議院議員
井上哲士

市民連合が全県キャラバン



アルビス前で訴える日本共産党の砂田市議=9月26日

総選挙で政権交代を

4野党の「命を守るために政治の転換を」共通政策

「安政法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合」と立憲野党4党による「衆議院総選挙における野党共通政策」の合意が9月8日に結ばれ、総選挙で政権交代をめざす野党の旗印が立ちました。

野党共通政策では、①憲法に基づき政治の回復、②科学的知見に基づく新型コロナウイルス対策の強化、③格差と貧困を是正する、④地球環境を守るエネルギー転換と地域分散型経済システムへの移行、⑤ジェンダー視点に基づいた自由で公平な社会の実現、⑥権力の私物化を許さず、公平で透明な

行政を実現するとしています。総選挙でこの政策の実行する政権の実現をめざし、その実現に全力をつくすと合意し、4党首が署名しました。

合意文書のコピーを2面に掲載します。



9月議会報告

マイナンバーカード普及に3千円の商品券???

9月議会に提出された2021年度一般会計補正予算第4号に、マイナンバーカードを普及するために3千円の商品券を配ることが計上されました。砂田市議は個人情報漏洩の危険があり、反対しました。

砂田市議の反対討論

そもそもマイナンバーカードは国民の側から「つくってくれ」と要望したものではない。政府が国民一人ひとりに生涯変わらない12ケタの番号をつけ、多くの分野の個人情報を紐づけして、国などが利用できるようにするものである。

個人情報漏洩の危険

プライバシー権の侵害の危険があり、個人情報の漏洩やカードの紛失、盗難という国民の不安は拭えない。現代の高度に発達した情報化社会では、国家や企業などに無数の情報が集積されており、本人の知らないところでやりとりされた個人情報、本人に不利益な使い方をされるおそれがある。

日本の法律では、EUの一般データ保護規則が定めるような個人情報を守るための規程が明記されていない。

9月議会一般質問(2)

砂田市議 子ども医療費の窓口無料化を石川県でも



もともと、どんなことからこのマイナンバーカードが始まったのか。日本経団連の2000年代からの提言を受けて具現化されたものだ。社会保障を「負担に見あつた給付」の名で徹底した給付抑制を執行し、国の財政負担、大企業の税・保険料負担を削減していくことが、政府・財界の最大のねらいだ。

この貴重な財源は、地球温暖化防止と省エネのために、今度取り替える市役所の窓ガラスを二重にして断熱効果を高めるために使った方が、よっぽど有効ではないか。この予算では一重ガラスに取り替えるのに740万円を見ているが、もう840万円を加えて二重ガラスにし、省エネに改善すべきでないか。

民生部長 子ども医療費は呉西全域が現物給付（窓口で無料）であり、償還払い（窓口で一時立て替え、後から市が払い戻す）の1位は金沢市、2位が富山市である。まずは県内全域の現物給付実現に向け取り組んでいる。（参考 小矢部市の石川県での子ども医療費償還払い件数2020年度596件、領収書の枚数、21年4月から8月まで266件。）

県外への現物給付の拡大については、石川県内での現物給付の状況、県をまたいだ国民健康保険団体連合会との調整、医師会との調整など解決しなければならぬ多くの課題があり、今後の検討課題である。

